

Amazon Web Services 向け データ保護ソリューション



Amazon Web Services を含む ハイブリッドクラウド全体の ワークロードを保護

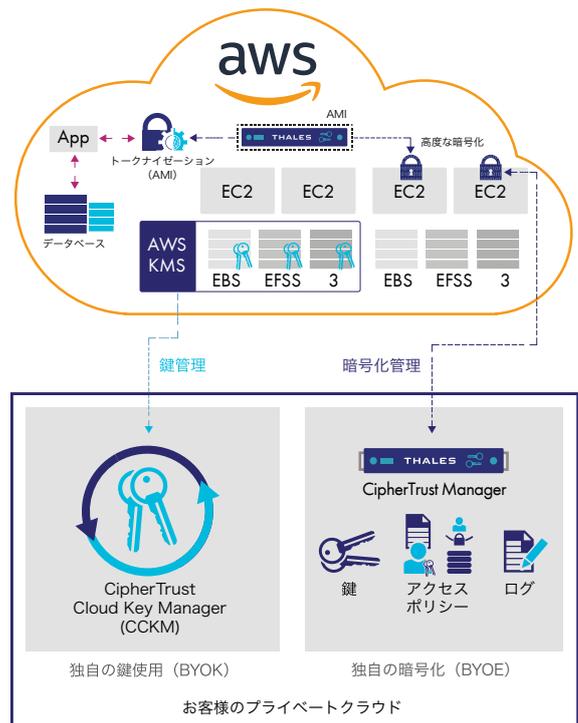
Amazon Web Services (AWS) の情報技術ワークロードを活用すると、利便性が高まり、コストを削減することができます。ただし、データを保護するためには、セキュリティ、プライバシー、コンプライアンスに関するルールやベストプラクティスに準拠する必要があります。また、現在使用しているすべてのクラウド間、および将来使用するすべてのクラウド間で、高速なデータモビリティが必要となりますが、クラウドベンダー固有の暗号化ソリューションでは十分に対応できない場合があります。

包括的な鍵管理機能を備えた 高度な暗号化ソリューション

クラウドを効果的かつセキュアに使用するには、クラウド内で機密データを使用するかどうかなど、次々と重要な決断を下さなければなりません。タレスであれば、デジタルトランスフォーメーションをセキュアに進めることができます。タレスの高度な暗号化ソリューションと一元的鍵管理ソリューションを活用することで、オンプレミスや Amazon Web Services、その他各種クラウドプロバイダー内に保存しているデータを保護し、管理できるようになります。タレスのテクノロジーは、以下のようなメリットをもたらします。

- 暗号化をクラウドベンダーに依存しないことで必要なデータモビリティを確保しつつ、独自の一元的暗号化管理により、Amazon Web Services を含むさまざまなクラウドベンダー全体に、ワークロードやデータを効率的かつセキュアに展開することができます。

- 複数のクラウド全体に対応した一元的鍵管理ソリューションにより、Amazon Key Management Service (AWS KMS) をセキュアに活用できます。
- 業界最先端の SIEM アプリケーションに対応したデータアクセス ログ機能により、攻撃を迅速に検出できます
- 特権ユーザーアクセス制御を含む高度な暗号化により、クレデンシャルの悪用から生じるリスクを軽減できます。
- ボルトレス トークナイゼーションと動的なデータマスキングにより、セキュリティ機能を組み込んだクラウド向けアプリケーションを設計できます。



Data Discovery and Classification

CipherTrust Data Discovery and Classification (DDC:データ検出と分類)は、クラウド、オンプレミスにあるデータプライバシーやセキュリティ規制対象のデータを、AWSブロックストレージやAWS S3など、様々な異種データストアから効率的にデータを検出および分類します。DDCに内蔵された分類テンプレートを使えば、迅速なスタートが可能で、**CipherTrust Manager (CM:暗号鍵管理)**で一元管理することができます。**DDC(データ検出と分類)**を利用することで、AWSでどのデータをどのように保護するかについて、適切な意思決定を行うことが可能になります。

Amazon Web Services や各種サービスに対応する高度な暗号化

全面的に Amazon Web Services ベースで厳格なデータセキュリティ管理を行っている場合でも、オンプレミスのプライベートクラウドや、複数のクラウドプロバイダー、AWS を横断してデータが分散しているハイブリッドクラウドを運用している場合でも、高度なデータ暗号化ソリューションが必要です。**CipherTrust Transparent Encryption (CTE:透過暗号)**は、ファイルやデータベースがオンプレミスにある場合でも、AWS などの複数のクラウドに分散している場合でも保護します。既存のアプリケーションやデータベース、インフラストラクチャ、ビジネスプロセスを変更する必要はありません。

CipherTrust Transparent Encryption:

- AWS、他のクラウド、またはオンプレミスで動作し、S3プロトコルを使用し、透過暗号エージェントを搭載したS3データのAWS S3バケットに保存されたデータを保護します。
- ユーザー ID (root 権限管理者を含む) やプロセスなど、多くのきめ細かいアクセスポリシーに基づいて、オペレーティングシステムレベルで不正アクセスを制御することで、データセキュリティを強化します。
- 詳細なファイルアクセス ログにより、セキュリティ侵害を迅速に検出し、コンプライアンス要件に対応します。ログは、セキュリティ情報/ イベント管理 (SIEM) システムに送ることができます。

既存環境の変更を必要としない柔軟な実装により、迅速な投資収益化を実現します。暗号化エージェントは、AWS EC2 コンピューティングインスタンス上や、ストレージにアクセスする各種サーバ上で動作し、EBS、EFS、S3 ストレージを保護します。さまざまな Windows バージョンや Linux ディストリビューション (Amazon Linux を含む) で使用できます。

セキュアな一元鍵管理

CM(暗号鍵管理)は、**CTE(透過暗号)**の鍵、ポリシー、ログを一元管理します。

CM(暗号鍵管理)は、オンプレミス展開用のさまざまなハードウェアモデルで利用でき、また共有AWS AMIとしてインスタンス化できます。

PCI-DSS コンプライアンスを促進

CipherTrust Tokenization with Dynamic Data Masking (トークナイゼーションと動的データマスキング)は、データセンター、ビッグデータ環境、クラウド内の機密資産を保護し、匿名化することで、PCI-DSS コンプライアンスをシ

ンプルにします。フォーマット維持トークン化やランダムトークン化により、データベース構造を維持しながら機密フィールドを保護し、システム中断を引き起こさない実装を実現します。そのため、ポリシーベースの動的データマスキング機能を簡単にアプリケーションに追加することができます。

CipherTrust Tokenization Server (トークナイゼーションサーバー)は、共有AWS AMI として利用できます。

マルチクラウド暗号鍵管理

独自の暗号化 (BYOE) を実行できない組織でも、**CipherTrust Cloud Key Manager (CCKM:クラウド暗号鍵管理)**を使用して外部から鍵を管理することで、業界のベストプラクティスに対応することができます。

CCKM(クラウド暗号鍵管理)は、クラウドプロバイダーが提供する独自の鍵使用 (BYOK) API を活用することで、暗号鍵を一元管理して可視化できます。これにより、お客様が暗号鍵のライフサイクルを管理できるようになるため、鍵管理がシンプルになり、運用コストが削減されます。**CCKM(クラウド暗号鍵管理)**をサービスとして使用すると、ソリューションを迅速に導入できます。**CCKM(クラウド暗号鍵管理)**は、共有 AWS AMI として利用することもできます。また、オンプレミスやサポート対象のプライベートクラウド環境に導入することで、厳格なコンプライアンス要件に対応することも可能です。

CCKM(クラウド暗号鍵管理)には、以下のメリットがあります。

- 安全な鍵管理を実現しつつ、拡張性、低コスト、利便性というクラウドのメリットを活用できます。
- 鍵管理機能を強化し、AWS KMS や Microsoft Azure Google Cloud Platform の顧客管理の暗号鍵 (Customer Managed Encryption Key) など、で使用する鍵の生成と保管を管理することができます。
- 自動鍵ローテーションや包括的な鍵ライフサイクル管理が可能な単一のコンソールからマルチクラウドの鍵を管理するこ

データ保護要件に対応

タレスは、Amazon Web Services ワークロードの保護をシンプルにし、データセキュリティ規則の遵守を促進します。**CipherTrust Data Security Platform**製品は、AWS 内やオンプレミスのワークロード上でシームレスに連携し、ポリシー/ 鍵を一元管理します。タレスのマルチクラウド鍵管理を活用することで、ベストプラクティスとデータ保護要件に対応できます。

タレス CPL について

今日の企業は、重大な判断を下すうえで、クラウド、データ、ソフトウェアに依存しています。世界で最も尊敬されているブランドや世界で最も大きな規模の企業が、タレスを信頼しているのはそのためです。タレスは、クラウド、データセンター、デバイス、ネットワークを横断して、作成場所、共有場所、保存場所を問わず、最も機密性の高い情報やソフトウェアを保護し、セキュアなアクセスを実現します。タレスのソリューションを活用することで、各企業は、セキュアにクラウドに移行し、自信を持ってコンプライアンスを達成し、毎日膨大な数のユーザーが利用するデバイスやサービスに組み込まれた自社のソフトウェアから、優れた価値を生み出すことができます。

> cpl.thalesgroup.com <    

お問い合わせ先 - cpl.ipsales@thalesgroup.com すべてのオフィスの所在地と連絡先情報につきましては、cpl.thalesgroup.com/ja/contact-us をご覧ください。